寄り添った支援の継続

令和6年能登半島地震災害派遣

33普連（連隊長・金子1佐）は、令和6年能登半島地震において、1月1日の発災直後から輪島市を主体に活動し、この間、総理大臣、防衛大臣等の激励もいただいた。

33連隊は、「寄り添う心」をモットーとし、被災者の救助・支援活動を行った。時間の経過とともに道路等インフラが復旧し、人命救助から生活支援へと活動内容が変化、民間の支援も徐々に増えたことや新たな被害等の状況の変化がなくなってきたことから自衛隊に対する支援ニーズの変化もなくなってきた。このような状況において、33連隊主力は、輪島市での任務を隊区担当である14連隊（金沢駐屯地）に引き継いだ。

一方33連隊主力の輪島での任務引き継ぎ後も、いまだ被災地での自衛隊に対する生活支援のニーズは、継続している状況から、33連隊も部隊の一部を派遣し、生活支援（給食、入浴及び給水の支援）の一翼を担い続けている。

これからも被災地から求められる限り、被災者に寄り添い続けたい。

連隊長による岸田総理への説明

山を越えての物資輸送

協力しながら物資輸送

力を合わせ重量物を運搬

悪天候の中、給水支援に向かう車両

火災現場での活動

行方不明者捜索のための認識統一

雪道を歩く隊員

入浴支援

入浴施設の清掃

入浴支援を実施する女性隊員

給水支援

避難所にも給水支援

ひとつひとつ丁寧に給水

給水車にホースを繋げる隊員

給食支援

支援を継続する隊員達

避難所にも給水支援

ひとつひとつ丁寧に給水

切裁をする隊員

伊勢 友情
発行所・編集
三重県中勢防衛協会
TEL(059)228−9141
印刷　(有)ミフジ印刷

三重県中勢防衛協会では会員を募集しています。
〈申込及びお問い合せ先〉
〒514-0033
津市丸之内29-14
（津商工会議所内）
TEL〈059〉228-9141

久居駐屯地ホームページ　久居駐屯地　検索
X（旧ツイッター）
インスタグラム
GSDF_MA_HISAI

二十歳という節目を迎えて

令和6年駐屯地二十歳の集い

久居駐屯地（司令・金子1佐）は、令和6年2月22日（木）に久居駐屯地体育館において令和6年駐屯地二十歳の集いを実施した。

本来は、1月に実施予定であったが、元日に発生した能登半島地震に伴う災害派遣により約1ヶ月遅れの実施となった。

行事は、今年度に二十歳を迎える隊員（以下、成人者）の門出を祝うとともに、二十歳を迎えた者としての自覚と責任感の醸成を図ることを目的とし、津市副市長・小松雅和氏をはじめとする18名の来賓の方々、駐屯地各部隊長及び駐屯地の隊員が見守る中、成人者52名（女性隊員6名）の門出を祝った。

行事では、国歌斉唱後、成人者紹介において一人ひとりが壇上に上がり、所属、氏名、出身地を力強く述べ、その後執行者（連隊長）は式辞において、「この二十歳を迎えた良き機会に自衛官としての目標や将来像を改めて確立して欲しい。そしてそこに至るため、何を努力すべきかを考え、創意をもって失敗を恐れず挑戦して欲しい。」（要旨）と述べた。

その後、成人者を代表し第4中隊の大山（おおやま）毅人（たけと）士長は「二十歳を迎えたことを節目に自分自身で考え行動すること、また後輩隊員に指示や助言ができるような心の余裕を持つことが大人になるための第一歩だと思います。指示や助言をして自らも行動をする責任感を自覚し、今まで以上に先のことを考えて動けるよう意識しながら生活し、自分自身を向上できるよう精進します。」と抱負を述べた。

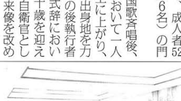
行事終了後には、記念撮影、記念会食及び桜の記念植樹が行われ、52名の成人者は二十歳という節目を迎えて決意を新たに大人への第一歩を踏み出した。

祝 令和6年 駐屯地二十歳の集い
執行者式辞

国歌斉唱

参列部隊に対し決意の敬礼

成人の抱負を述べる第4中隊大山士長


成人者の前途を祝し万歳三唱

二十歳の集い記念会食
謝辞を述べる重迫撃砲中隊多田士長

県内の女性層の理解を深める

令和5年度地域女性層との交流

久居駐屯地（司令・金子1佐）は、2月25日（日）に駐屯地において令和5年度地域女性層との交流を実施した。

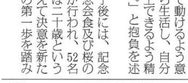
この行事は三重県内の女性層を対象とし、防衛問題に関するわかりやすい解説及び女性自衛官の活動を含めた自衛隊の実情の紹介等を実施して、防衛を理解するための基盤及び親近感の醸成を図ることを目的に実施された。

当日の朝、駐屯地に到着した三重県内に在住する15名の女性（以下、参加者）は、受付を終えた後、広報室長（藤井3尉）による概要説明、体育館においてらっぱ吹奏展示、格闘展示、記念撮影、車両整備工場内及び営庭において装備品展示、女性隊舎において生活居住区の見学、高機動車による駐屯地内の体験試乗、資料館見学、食堂において体験喫食及び女性隊員との懇談を実施した。

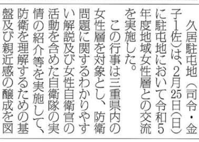
当初は少し緊張が見られた参加者であったが、見学をしていく中で隊員達と次第に打ち解け合い、最後の女性隊員との懇談においては、自衛隊に入隊した理由やどんな訓練をしているか、女性ならではの問題点や疑問など様々な問いかけがあり、隊員達はその質問に的確に答えていた。また、参加者の中には、4月に入隊を控えた親子も参加しており、このイベントを通して「不安が解消された」「娘を送り出す切っ掛けになった」との声も出ていた。

全ての見学が終了した参加者に隊員達は会場から駐車場へ向かうまでの間に花道を作り、参加者を見送った。その際、参加者と隊員はハイタッチし、「また会いましょう！」と言葉を交わした。

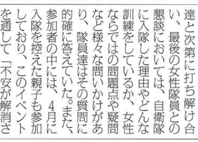
行事を通じて防衛を理解するための基盤及び親近感の醸成を図ることができ、地域女性層との交流は成功に終わった。


自衛隊の装備品に大興奮！

らっぱ吹奏展示


体験試乗の様子

記念撮影


懇談の様子

女性隊員による格闘展示

久居の課業後 #10 隊員の趣味紹介

自転車

第3中隊　2曹　藤川（ふじかわ）泰孝（やすたか）

私の趣味は自転車です。

移動手段のツールとして自転車は徒歩と自動車の間であり、行きたい所にゆっくりと行けるその利便性が気に入っています。

自動車では行きづらく、かといって徒歩では遠すぎる、そんな場所にふと気が向いた時にいくためのツール、私にとっての自転車はそんなのんびりとした移動手段です。

自転車で移動するメリットとしては、バイクでは味わえないような静けさで路地を巡ることが出来る点です。無論交通法規には注意をして、必要によっては降車して自転車を押したり、時には肩に担いで階段を上り下りすることもあります。こういった臨機応変のある移動が出来る利便性も私が自転車を気に入っている理由の一つです。

移動した先でどのようなことをするかは特に決まっておらず、写真を撮ったり、食べたり、その時次第ですが、写真を撮る時は自転車を含めた風景を撮ることが多いので、最近は自転車を見栄え良く気軽に自立させるよいツールはないか探している所です。いくつか試してみたものの、意外と自立させるツールは使いにくいものが多く、試行錯誤しています。

このような形ですが、これからも私は自転車を趣味として続けて行くつもりです。

菅原道真公の産湯の池と伝えられる遺跡を背景に

VOICE・VOICE

二十歳の集い

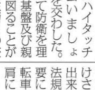
第3中隊　士長　藤川（ふじかわ）来（らい）
岐阜県美濃加茂市出身

まず始めに、一月一日に起きた能登半島地震において被害を受けた皆様におかれましては、一日も早い復興を心からお祈り致します。話は変わりますが、令和6年に私は二十歳という人生の大きな節目を迎えることができました。二十歳になるとお酒を飲めるようになるだけでなく、結婚を視野に入れ始め、貯金を考えだす等、自ら考え選択することで、自由を掴んでいくことになると思います。しかし自由を手にいれた分、自分の行動全てに責任が伴うので背筋が伸びる思いです。二十歳の抱負は、両親とお酒を酌み交わし昔の話をすること、今の彼女と婚姻することです。今までの自衛官としての一番印象に残っている任務は、能登半島における災害派遣に従事したことです。被災した方々の安否確認や徒歩での物資輸送、支援物品の管理等多岐に渡りました。中でも被災者の方々に食料を直接渡した際に、「食べるものが無くて本当に困っていた。ありがとう。」と感謝をしてくれたことが忘れられません。少しでも力になれたことが嬉しいという思いと同時に、自衛隊に所属していることが真っ直ぐに誇らしいと思えました。当たり前にベッドで寝られること、毎日ご飯を食べられることがとても幸せであることに気付きました。これからも、皆が当たり前だと思っている幸せを自衛官として守っていきたいです。

最後になりますが、私に手間を惜しまず育ててくれた両親に感謝を伝えたいです。そして自衛官としてさらなる成長を遂げ国民の負託に応えて参ります。

二十歳を迎え

第1中隊　士長　吉田（よしだ）吏玖（りく）
岐阜県羽島郡岐南町出身



私は、今年災害派遣等様々なことがありましたが、無事成人式を迎えることを嬉しく思います。これから新成人としての一歩を踏み出す仲間へ、心からお祝い申し上げます。

民法改正により、成人年齢が二十歳から十八歳に引き下げられたことを皆様も御存じだと思います。しかし、成人年齢は十八歳ですが二十歳になると人生が大きく変わると言われています。この年齢には、多くの責任と自由が同時に訪れると思います。私は二十歳の誕生日を迎え、自分の言動に責任が生じ、時として大きなプレッシャーになることを実感しています。私は自衛隊に入隊して2年が経とうとしていますが、自衛官としての知識、技術、精神力が不十分だと思っています。そんな私にも後輩ができ、先輩という立場になり、教える場面が増えてきました。そのため、これからの訓練や業務に対し、常に前向きに取り組み、知識や経験を積み重ねていきたいと思います。

私は成人になるにあたって陸曹候補生になることを目標とし、一日一日の時間を大切にして少しでも早く陸曹になれるよう頑張っていきます。そして、自衛官としてどんな任務を与えられても達成でき、有事の際国民の皆様に感謝されるような自衛隊員になります。

最後に、今まで20年間育ててくれた両親に感謝するとともに、社会人としての自覚と責任を持ち、社会に貢献できる自衛官になっていけるよう日々頑張っていきます。

二十歳の集いを迎えて

第2中隊　士長　寺本（てらもと）海斗（かいと）
三重県四日市市出身

本日は、皆様とともに二十歳の集いを迎えることができ、大変嬉しく思います。

私は、幼少期から早く「大人」になりたいと思っていました。幼少期の私には、大人の方が色々なところで活躍し、日々を楽しんでいる姿がとても輝いて見えていました。ただ、人生というのはあっという間で私ももう二十歳になりました。しかし、その時憧れていた「大人」になれているのかふと考えるとそうではないと気付きました。

そこで、二十歳を迎え、二つの目標を決めました。

一つ目は、周囲に気を配れる人になることです。私は、失敗を恐れ、言われたことしかできないような時があります。周りを見て、自ら率先して物事を進められるような人間になりたいです。そして、人から喜ばれるような行動をし、必要とされる存在になりたいです。

二つ目は、コミュニケーション能力をあげることです。昔から人と話すのが苦手で、何を話せばいいのか分からず、会話が続かないことが多々ありました。しかし、コミュニケーションが不足していると周囲の人と協力し合うこともできず、意思疎通が図れず失敗するということもあるので、会話を広げて楽しめるようなスキルを身に付けたいです。

これまで大きな病気もせず、楽しく過ごしてこられたのは、両親をはじめとする周りの人の支えがあったからこそだと思います。

これから私は、新しいこと、色々なことに挑戦し続け、悔いのない人生を歩んでいきたいです。

二十歳の抱負

第4中隊　士長　加藤（かとう）大夢（ひろむ）
愛知県春日井市出身

二十歳という節目を迎え、二十歳を迎えられた嬉しさと同時に大人になることに対する不安が入り混じる気持ちです。二十歳を迎えた私達は、一人の大人としてみられるとともに、自衛官として自覚ある行動と責任を今まで以上に求められます。二十年間支えてくれた両親や、これまで関わってくださった方々があっての今の自分だと強く感じるとともに、感謝の思いでいっぱいです。

私は二十歳を迎えるにあたり、今まで以上に両親に親孝行していきたいです。自衛隊に入隊して一番強く感じたのは親のありがたみです。毎日仕事終わりに行う両親の姿や、休日を家族のために使う凄さを身に染みて感じました。本当はゆっくり休んだりする時間を家族のために使うことは簡単なことではありません。働いて休日のありがたみを知って初めて凄さを実感しました。幼い頃から両親は自分の時間を割いて私を支えてくれました。今度は私が家族を支えられるよう親孝行を今まで以上にしていきたいです。

まだまだ色んな面で多くの方々に手助けをしていただいている今の私は、大人には程遠いですが、大人としてのスタートを切っている以上、今度は私が多くの方々を手助けできるよう多くのことを吸収していきたいです。

令和5年度後期定期異動者紹介

【駐屯地外（異動先）】
▽本中
1曹　坂本　剛（三宿）
2曹　鞘師泰弘（守山）
2曹　得平敦史（守山）
2曹　芝先泰生（八尾）
2曹　山口謙一（三重地本）
3曹　笠　恭平（神町）
3曹　池尻一生（相浦）
3曹　梅本翔太（三宿）
士長　吉田桃菜（川西）
士長　原田真桜（川西）
士長　小岸健人（仙台）
▽1中
1尉　井上健志（朝霞）
2尉　鹿末龍太郎（前川原）
曹長　長谷川大介（練馬）
1曹　小野卓郎（十条）
1曹　水野重仁（富士）
2曹　井出彰一（都城）
2曹　平田恭崇（三重地本）
3曹　竹内一樹（守山）
士長　中谷羽以夢（相浦）
士長　西村武将（相浦）
▽2中
1尉　瀬能大介（伊丹）
2尉　越取　優（前川原）
曹長　宅間亮仁（目達原）
1曹　平松洋三（富士）
3曹　上野翔平（真駒内）
▽3中
1尉　元　将哲（竹松）
2曹　中嶋優輝（三重地本）
3曹　深田匡治（宇都宮）
3曹　杉本祐樹（滝ケ原）
3曹　豊田彬良（竹松）
3曹　船山秀人（竹松）
3曹　土屋隆司（守山）
▽4中
1曹　田端茂幸（竹松）
2曹　木村健人（滝ケ原）
2曹　岡本拓也（宇治）
3曹　大脇　秀（竹松）
3曹　矢田雅希（名寄）
▽重中
2曹　佐藤宗幸（高田）
3曹　濱口勝弥（対馬）
3曹　片倉瑠星（明野）
士長　伊藤博基（竹松）
▽業務隊
2佐　中原貴義（今津）
准尉　中野正勝（明野）
准尉　齋藤孝紀（明野）
▽2直支
2尉　太田光星（春日井）
1曹　横井孝英（豊川）
2曹　田中寿宏（東千歳）
士長　柴田琴未（春日井）
▽会計隊
曹長　東　充（伊丹）
▽警務隊
2曹　丸山壮司（千僧）
3曹　堀山敦司（明野）
▽基通
1曹　清水静香（明野）
3曹　作野大介（豊川）

【駐屯地内】
▽連本
1尉　杉村悟志（2中）
2尉　浮田智基（1中）
▽本中
2尉　北崎雄飛（2中）
曹長　長尾　基（4中）
2曹　樋口誠二（3中）
3曹　赤井悠哉（2中）
▽1中
3曹　北出大騎（本中）
▽2中
2尉　細江哲平（3中）
3尉　山口史晴（本中）
2曹　神田浩史（本中）
▽3中
2曹　上村　潤（本中）
▽4中
3尉　宮崎翔太（本中）
2曹　黒木　優（本中）
3曹　古市悠馬（本中）
▽重中
2曹　岡崎竜至（本中）

【転入者】
▽連本
1尉　田中佑也（朝霞）
▽1中
2曹　磯元真吾（明野）
▽2中
3佐　大村　武（大宮）
2尉　山根良太（前川原）
▽3中
2尉　前田拓志（前川原）
▽業務隊
2佐　齋藤幸造（立川）
1曹　生島　武（明野）
3曹　山口順也（三宿）
▽2直支
2尉　小田亮介（金沢）
3尉　永田和樹（豊川）
2曹　山崎智明（今津）
3曹　里崎勇太（金沢）
▽基通
2曹　岡田二郎（明野）

優秀隊員

▼中部方面総監表彰
▽第3級賞詞
（職務遂行による功績）
業務隊　行（一）5　久保田雅彦
▽第4級賞詞
（職務遂行による功績）
業務隊　准尉　齋藤　孝紀
業務隊　行（一）3　西原　宏明
業務隊　准尉　中野　正勝

▼令和5年度
師団定期（後期）表彰
▽第3級賞詞
（職務遂行による功績）
1中　1尉　井上　健志
2中　1尉　瀬能　大介
3中　1尉　元　将哲
▽第5級賞詞（業務・装備改善による功績）
3中　3曹　福田　雅之

▼令和5年度
連隊定期（後期）表彰
▽第4級賞詞
（職務遂行による功績）
本中　2尉　北崎　雄飛
本中　2曹　梅本　舞
本中　2曹　鞘師　泰弘
本中　2曹　芝先　泰生
本中　2曹　平岡　優作
本中　2曹　森　一将
本中　2曹　山中　英之
本中　3曹　池尻　一生
本中　3曹　笠　恭平
1中　2尉　鹿末龍太郎
1中　曹長　長谷川大介
1中　1曹　小野　卓郎
1中　1曹　水野　重仁
1中　2曹　重山　正宏
1中　3曹　羽根　涼平
2中　2尉　越取　優
2中　2尉　細江　哲平
2中　曹長　奥山　英樹
2中　曹長　宅間　亮仁
2中　1曹　平松　洋三
2中　2曹　田村　京平
2中　2曹　又野　匠
3中　3曹　杉本　祐樹
3中　3曹　深田　匡治
4中　2曹　岡本　拓也
4中　3曹　古市　悠馬
4中　3曹　矢田　雅希
重中　2曹　梶間　郁哉
重中　2曹　佐藤　宗幸
重中　3曹　片倉　瑠星
重中　3曹　濱口　勝弥
▽第5級賞詞
（職務遂行による功績）
本中　1曹　谷口　理貴
本中　3曹　赤井　悠哉
本中　3曹　橋詰　健太
1中　3曹　北出　大騎
▽第4級賞詞（業務・装備改善による功績）
連本　2尉　浮田　智基
本中　曹長　坂本　剛
本中　1曹　岩村　将平
本中　1曹　橋口　英雄
本中　2曹　加藤　康樹
本中　2曹　得平　敦史
本中　2曹　村手　伸宏
本中　2曹　森本　忍
2中　2曹　鈴村　勇貴
▽第5級賞詞
（業務改善による功績）
本中　准尉　山下　謙
本中　1曹　髙橋　慎也
本中　1曹　竹内　睦博
本中　2曹　植村　崇志
本中　2曹　樋口　誠二
本中　2曹　山口　謙一
本中　2曹　分部　浩樹
本中　3曹　稲垣　数騎
本中　3曹　戸田　裕介
本中　3曹　堀内　雅矢
2中　曹長　宅間　亮仁
2中　3曹　佐々木泰輔
3中　1曹　中村　光彦
3中　2曹　林　幸一
3中　2曹　八木　乙介
4中　2曹　佐藤　澄人
▽褒賞状（隊員自主募集情報獲得による功績）
本中　准尉　仲山　正之
本中　曹長　見田　雅之
本中　曹長　鈴木　大輔
本中　1曹　柳瀬　孝雄
1中　3曹　辻本　隼汰
1中　士長　岡竜樹ムニス
2中　曹長　奥山　英樹
3中　2曹　上村　潤
4中　3尉　中世古辰規
4中　2曹　小西　亘
重中　2曹　伊藤隆一郎
重中　士長　高木　未世
重中　士長　多田　愛菜

▼連隊臨時表彰式
▽第4級賞詞（車両無事故操縦による功績）
本中　2曹　河野　勇祐
本中　2曹　村手　伸宏
1中　3曹　伊地知正和

▼業務隊
▽隊長第5級賞詞
（職務遂行による功績）
行（一）5　野田誠一郎
行（一）3　柴田麻千子
1曹　平澤津克彦
1曹　中井　一博
2曹　中嶋　知弥

▼第2普通科直接支援中隊
▽第4級賞詞
（職務遂行による功績）
1曹　横井　孝英
▽第5級賞詞
（職務遂行による功績）
2尉　太田　光星
1曹　山田　活
3曹　野澤　和寛
3曹　柳田　瑞貴

▼第337会計隊
▽中部方面会計隊長
第4級賞詞
（業務改善による功績）
曹長　東　充
▽中部方面会計隊長
第5級賞詞
（職務遂行による功績）
3曹　坂本　賢司
▽第337会計隊長
第5級賞詞
（業務改善による功績）
2尉　松田　真知
3曹　宮本　誠士

▼2月喫食率優秀部隊
第1位　重迫撃砲中隊
第2位　第4中隊
第3位　第3中隊

▼服務意識向上施策に伴う服務優秀隊員
本中　1士　中谷　もえ
1中　士長　玉城　貴之
2中　士長　上園　宙
3中　士長　内山　未来
4中　士長　樋口　雅人
重中　士長　橋口　義美

定年退官

▽村田　文子　事務官
（前　業務隊）
3月31日付

長い間の勤務、お疲れ様でした。
これからも健康に気を付けて頑張ってください。